



生協連会報

2024

11

No. 535

<活動報告>

- 千葉県生協連政策検討会開催報告 2
- 第45回九都県市合同防災訓練 物資輸送訓練報告 4
- 第3回食・消費者委員会開催報告 5
- 第1回職域生協部会開催報告 7

<関連団体>

- 消費者団体千葉県連絡会2024年度施設見学報告 8



みんなどうする？

～多様な活動から未来を考える～

参加無料

2025.1.18(土)
14:00~16:00

会場参加 50名

オンライン参加 150名
(アーカイブ配信あり)

人々がゆるやかにつながる誰もがくらしやすい社会をつくるために、私たちは何をすればよいでしょうか。幅広い年代、多様な価値観や背景を持つ人たちと課題を共有しながら、発信や社会活動を進めている皆さんからお話をお聞きし、活動の中で大切にしていることなどを手がかりに、これからの社会の「かたち」を探します。

☆ お話し・進行
安田 菜津紀さん

(NPO法人Dialogue for People 副代表)

フォトジャーナリスト。東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。現在、18~29歳を対象にした、「伝える」ことについて学び、考える「D4Pメディア発信者集中講座」を毎年継続して開催。



☆ 報告 能條 桃子さん 足立 あゆみさん 和氣 未奈さん (COOP次世代ラボ(仮))

「COOP次世代ラボ(仮)」は、これからの市民社会を担う若者と生協・協同組合が協働し、若者団体の中間支援を行いながら、よりよい社会をつくっていく方法としての「協同組合」について学び、発信していこう!というプロジェクト。和氣さんはじめ日本生協連の若手職員、「NO YOUTH NO JAPAN」の能條さん、足立さん、「KNOW NUKES TOKYO」の中村涼香さんが参画。



五十嵐 実さん

(NPO法人湘南クリーンエイドフォーラム 代表理事)

環境カウンセラー。20代前半にサーフィンを始め、湘南への転居を機にサーファー主体のビーチクリーン活動に参加するようになる。40代半ばに自らビーチクリーン団体を組織、積極的な環境保全活動を開始した。現在も、地域を巻き込んで活動を広げている。



プログラム(予定)

14:00

安田さんの講演と
登壇者の皆さんからの
報告

15:25

安田さん、登壇者の皆
さんと会場参加者との
ディスカッション

申し込み方法

締切 2025年1月14日

QRコードから、
WEBフォームでお申込みください。

<https://forms.gle/vknjvaynJj8Rykr6>

◆お申込みの際には

- ①会場参加
- ②ライブ配信視聴(視聴のみ)
- ③後日アーカイブ配信視聴の、いずれかをお選びください。



会場



- ・JR中央線、総武線、東京メトロ東西線、中野駅南口6分
- ・東京メトロ丸の内線 新中野駅、杉山公園口下車8分

主催：東京都生活協同組合連合会 神奈川県生活協同組合連合会
埼玉県生活協同組合連合会 千葉県生活協同組合連合会

この件のお問合せは、お住いの各都県生協連まで

千葉県生協連 ☎ 043(224)7753

千葉県生協連の主な活動予定 2024.11～2025.1

11月			12月			1月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	金		1	日	千葉県協同組合フェア	1	水	
2	土		2	月		2	木	
3	日		3	火	中央地連MCA無線通信訓練	3	金	
4	月		4	水		4	土	
5	火	県連MCA無線通信訓練	5	木	大規模災害対策協議会	5	日	
6	水		6	金		6	月	
7	木	サポちば理事会	7	土		7	火	県連MCA無線通信訓練
8	金		8	日		8	水	
9	土		9	月	第4回食・消費者委員会	9	木	サポちば理事会
10	日		10	火		10	金	
11	月		11	水	フードドライブキャンペーン実行委員会	11	土	
12	火		12	木		12	日	
13	水	第4回地域・まちづくり委員会	13	金		13	月	
14	木		14	土		14	火	
15	金	地域生協部会視察研修	15	日		15	水	子どもを事故から守ろう！ パパ・ママカフェ (生活クラブ)
16	土	地域生協部会視察研修	16	月	子どもたちに平和な未来を 2025第1回実行委員会	16	木	第5回地域・まちづくり委員会
17	日		17	火	子どもを事故から守ろう！ パパ・ママカフェ (パル千葉)	17	金	
18	月		18	水		18	土	4都県連生協企画
19	火		19	木		19	日	
20	水		20	金		20	月	
21	木	第3回理事会/地域生協部会	21	土		21	火	
22	金		22	日		22	水	
23	土		23	月		23	木	第4回理事会
24	日		24	火		24	金	
25	月	第29回女性交流会	25	水		25	土	
26	火	消団連第3回代表幹事会	26	木		26	日	
27	水		27	金		27	月	
28	木		28	土		28	火	
29	金		29	日		29	水	
30	土	子どもを事故から守ろう！ パパ・ママカフェ (みらい)	30	月		30	木	
			31	火		31	金	次世代との交流会

2024年度千葉県生協連政策検討会開催報告



日 時：2024年10月17日（木）10：00～14：00

会 場：ホテルポートプラザ千葉 2階「ルビー」

参加人数：12 会員生協 66 名（講師、事務局含む）



政策検討会は、会員生協が次年度の活動方針を考えるうえで必要と思われるテーマを設定し、開催しています。今年度は午前と午後の2部構成とし、午前はくらしの中の新たな社会課題を学び、午後からは会員生協の活動から好事例を取り上げて交流しました。（文責：事務局）

開会挨拶（抜粋） 千葉県生協連 首藤英里子会長理事



この度、日本被団協がノーベル平和賞を受賞され、心からお祝いを申し上げます。千葉県生協連も千葉県原爆被爆者友愛会の皆さんの活動を支援し、共に取り組んで参りました。今回のノーベル平和賞受賞は大変喜ばしい事であるとともに、小さくても地道に活動を積み重ねてゆくことの重要性や期待を、改めて強く感じるところです。

《午前の部》 「デジタル空間と私たちのくらし～情報の健康とは～」

講師 慶應義塾大学大学院法務研究科教授 山本龍彦先生



くらしの中でインターネットが不可欠な状況になっています。情報社会において、「アテンション・エコノミー」（関心を競う経済）から個人の尊厳をどのように守ればよいか、を考えました。

1. アテンション・エコノミーとは

今、インターネットが普及し、情報過多な世界になっています。供給される圧倒的な情報量に対して、我々が払える「アテンション（関心・注意）」や時間は貴重で、当然、経済的な価値を持つようになります。こういうビジネスモデルのことは「アテンション・エコノミー」と呼んでいます。お金と同じぐらい貴重な時間や有限の関心が、閲覧数や「いいね」という形で指標化され広告主に売られることで、Google、Apple、Amazon、メタといったプラットフォームが収益を得ています。

2. アテンション・エコノミーの課題

今、プラットフォームから絶えず通知が届く中で、スマートフォンを置くことができない以上、その魅力的・刺激なものに常時さらされている状況です。これが果たして「人間のディグニティ（尊厳）」というものを実現しているのかどうか、が改めて問われています。国連では「個人レベルでも コミュニティレベルでも、我々は注意が高じたときしか集中力が持たなくなってきた」と報告されており、これは憲法学的に見ても非常に重要で重大な、由々しき事態なのかもしれません。また、TikTok といった刺激的な情報を「快楽」と特定すると、それが問題だということ自体が「問題ない」というような考えになります。「人間の尊厳とは何だろう」ということを、やっぱり改めて議論しないと、若い人たちはおそらく「それは何が悪いんですか」ということになる。



特に世代間とかで、こういう会話をすることが非常に重要だろうと思っています。

3. 情報的健康のすすめ

今「情報健康」というコンセプトを論議しています。現代人の多くは「様々なものをバランスよく食べるということが良いことだ」と考えていると思います。現代のアテンションの状況では、陰謀論であれば陰謀論ばかり、リベラルであればリベラルな思考ばかりを食べる、といった「情報の偏食」が進んでいます。食育でいう「食物を食べる」摂取行動と「情動で摂取する」という行動を見直していくというところは、何かやはり情報の場合と共通しているようにも感じています。

4. 終わりに

プラットフォームの権力、つまりここまで情報空間を支配し我々の考え方を操作し得る存在になってるわけですから、そこをどういう風に監視し権力を統制していくのかということが新しいメディアとして問われるのではないかと、思います。そういう意味で「公共を作るということ」、実はここを生協でもと期待しています。

《午後の部》 「持続可能な社会の実現に向けた、生協の多様な活動を考える ～ 事業や活動のすそ野を広げるために ～」

午後は、4生協の活動報告をもとに、グループで交流しました。

1. 大学生と生協活動について 千葉大学生協・東邦大学消費生協

毎年度、組合員の入れ替えが起こる大学生協での、学生組合員・学生委員などの仲間づくりについてお話しいただきました。

左：千葉大生協 柴崎専務

右：東邦大消費生協 有吉専務



2. 他団体との関係づくり 千葉県庁生協

「スカイレストラン黎明」のリニューアルに向けて、県関連機関や外部専門家で構成された「食堂事業運営検討会」を開催された経緯などについて、ご紹介いただきました。

左：県庁生協 丹波事務局長

右：パルシステム千葉 熊谷主任



3. 新たな食料支援の取り組み パルシステム千葉

フードバンクへの支援「買って応援！まごころセット」の取り組みについて、報告いただきました。



4. 子ども食堂を中心とした地域づくり なのはな生協

子ども食堂「からべえ」を中心とした地域コミュニティーへの関わり方などについてお話しいただきました。

なのはな生協 涌井副理事長

参加者の感想

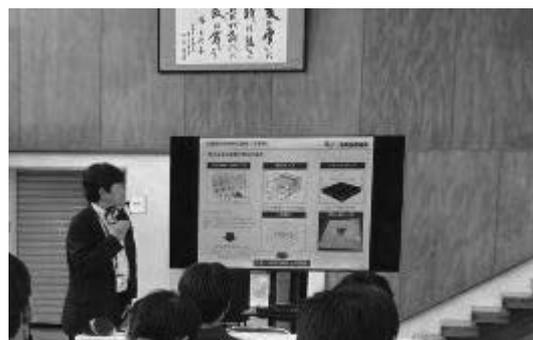
- ・不安に感じていたデジタルへの向き合い方の、何が課題かがよくわかりました。
- ・「情報健康」について、生協がこれまで取り組んできた食育の経験が生かせないかと思いました。
- ・アテンション・エコノミーの問題は、「学生は学校で学べるが、中高年の方々に意識を持ってもらいどのように学習するか検討が必要」と聞き、生協でも取り組みができないかと思いました。
- ・パルシステム千葉のフードドライブについて、購入型の取り組みでポイントの活用について、報告がありましたが、自生協でも取り組んでみたいと思いました。
- ・生協との交流の場を設けていただき大変感謝します。グループ内で話し合うことで、生協が今まで地道に取り組んできた活動の価値を再認識できました。取り組む内容は様々ですが、根底にある理念は皆共通していると感じました。

第45回 九都県市合同防災訓練 物資輸送訓練報告



10月20日（日）、いすみ市を会場に第45回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）が開催され、今回は生活協同組合コープみらい千葉県本部が物資輸送訓練に参加しました。今回の物資輸送訓練は能登半島地震の教訓を元に陸路の搬送に加えて、海路の搬送もおこないました。また、能登半島地震で物資集積拠点を運営した佐川急便株式会社から能登半島地震の被災地での活動を踏まえた物資集積拠点の運営のノウハウに関する講座が実施されました。

当日は、地域の自主防災組織の方や会場となった大原中学校の生徒が参加し、「物資集積拠点の運営講座」を聴きました。講座の中では能登半島地震の被災地で実際に起きた問題として、飲料のケースを高く積みすぎたために床が抜けてしまった事例や重い物資を床に直置きしたので移動にかなりの労力が掛かってしまったことが報告されました。また、体に負担が掛からない荷物の持ち方や共同作業による荷物の運び方なども学びました。



物資集積拠点の運営講座

講座終了後に実際に物資をトラックから荷下ろしをして、所定の保管場所に運びました。千葉県生協連の他に佐川急便(株)、(株)ローソン、トラック協会等のトラック6台が飲料水や缶詰、アルファ米、パン等の商品を運び、地域の方や中学生が荷下ろしをおこないました。



物資を運搬する様子

2024年度第3回食・消費者委員会開催報告

12 月
∞

日 時：2024年10月28日（月）13：30～15：30

会 場：千葉県生協連会議室（対面での開催）とZOOMでのハイブリッド開催

出席者：北村・齊藤（パルシステム千葉）、
（敬称略） 中井・並木（生活クラブ生協） 佐々木（コープみらい）
尼崎・依光（県生協連） オブザーバー：佐藤（日本生協連）

内 容：

2024年度第3回食・消費者委員会では、消費者問題を取り上げ、全国及び千葉県の消費者被害の状況、また最近の消費者行政の課題を学ぶ学習会を企画しました。市町村の窓口で相談に携わる消費生活相談員の浜野洋子さんに説明していただきました。（文責：事務局）



1. 「全国及び千葉県の消費者被害の現状と消費者相談や窓口、啓発に関する課題」

講師：特定非営利活動法人消費者市民サポートちば 企画委員

消費生活相談員 浜野洋子さん



○デジタル化の進展により、消費者を取り巻く環境変化が早いスピードで変化しています。デジタル化により消費者は、たくさんの情報にアクセスでき、多様な選択ができるようになりました。とても便利でメリットがある反面、様々なインターネット広告、ネット上だけのつながりでの勧誘、セキュリティの問題などの課題があります。

○昨年の千葉の相談件数は90万件。最近の相談は簡単に終わらないものばかりになっています。また、全国で相談を受けた消費者被害からみた契約・購入金額は、23年度で10.6兆円。年々高額化、増額しています。国家予算の約10分の1の金額ほどになります。

○誰もがスマートフォンを使うようになり、若者だけでなく全世代でインターネット広告やSNSをきっかけとしたトラブルが多くなっています。また男女問わず、美容関係の被害、点検商法なども増えています。

○千葉県内の消費者相談窓口の課題は、消費生活相談員のなり手不足です。高齢化も進んでいて、県のセンターでは60歳代が48.2%、30歳以下は3.1%、市町村では70歳代以上が1割を占めています。また「会計年度任用制度」雇用のため、5年で採用の切り替えがあり、賞与などありません。未来が描きづらいので、若い人達には勧めにくいです。

○子どもたちは学校で消費者教育を受ける機会があります。高齢者や障害者は地域コミュニティや消費者団体などから情報を得ています。しかし、社会人になると新人研修などでの消費者教育もありますが、一番被害相談の多い50歳代への対応が難しくなっています。

○一人ひとりの行動は、社会や経済などに大きな影響を与えます。自分が悪質事業者の被害に遭わないことはもちろん、被害に遭いやすい高齢者を、地域で見守ることも大切です。もし、被害に遭った場合は誰かに話すこと、消費者センターに相談してください。



委員からは「相談員のなり手不足が、非常に心配だ」「最近フィッシングのメールが多いので困っていた。被害に遭わないように気をつけたい」との感想がありました。

2. 各生協からの報告

○生活クラブ生協

- ・9/7(土)旭市のJAちばみどり「ちばあさひ米」の圃場にて、稲刈りを行いました。参加は親子で35人。「田んぼの学校」として田植と稲刈りを企画していて、田植は天候不順で中止となりましたが無事稲刈りは実施することができました。
- ・10/5(土)千葉県漁連の東安房漁協にて「海の学校」を開催し親子で33人の参加がありました。県漁連から千葉県の漁業のお話、漁師の方から漁の話とさかな博士による子供向けのクイズ大会の後、サバの三枚おろしと骨取り体験をして伊勢海老とアワビの畜養場を見学するという丸1日コース。捌いたサバは、干物にして後日それぞれの自宅に届けられ美味しくいただきました。

○コープみらい

- ・千葉4区ブロック委員会が募集した「バスで行く 枝豆産地見学交流会」には沢山の応募がありました。「味風香」「湯上がり娘」「サッポロミドリ」の3品を収穫しました。枝から枝豆をもぎ取る作業がとても大変で、農家さんの苦労も体験しました。試食もでき、枝豆嫌いなお子さんが採れたて枝豆を食べてくれて、「食べれた」と収穫を通して食育にもつながりました。

○なのはな生協

- ・体験型イベントでは、4月21日、6月2日開催の「みみずの会」の農業体験「みみずの学校」に10家族が参加しました。こうざき自然塾では5月8日に田植え体験と9月21日に稲刈り体験を行いました。田植え体験では16家族69人、稲刈り体験では19家族78人が参加いたしました。
- ・8月2日には夏休み親子企画「丸和食品の『豆腐作り』体験」をおこない、15家族32人が参加し、豆乳とにがりで作った豆腐を作りました。各自で作った豆腐を実食して「にがい」「柔らかすぎる」「生協で買った方がおいしい」など、豆腐作りの難しさを感じたようです。
- ・9月13日にエリアスタッフ対象の組合員活動交流会を行い、千葉北部酪農の方から酪農業界の現状を伺いました。また、エリアの活動では、8月8日に北部エリアにおいてスタッフが講師になり「親子手作りシュウマイ教室」を開催しました。19人の参加がありました。また、西部エリアでは9月10日に「地産の魚を食べつくそう」と題した千倉水産加工販売の生産者交流会をおこない12人が参加しました。

○パルシステム千葉

- ・10月13日(日)にtip star dome chiba(千葉市)にて、商品展示会を開催しました。約1,500人が来場し、大盛況でした。来場者は、約40のメーカーや生産者、地域団体の出展ブースで、試食や買い物その他、クラフトや体験等、交流を楽しんでいました。特設ステージでは、地元の中学校の吹奏楽部の演奏などが催され、好評を博しました。牛乳パック回収やフードドライブも実施し、幅広い生協の活動を伝える機会となりました。

以上

日時 2024年10月31日(木) 9:30 ~ 11:30

会場 千葉県庁 スカイレストラン黎明
および Zoom を用いたオンライン

出席 鶴岡(千葉県庁生協)、筒井(学校生協)、柴崎(千葉大学生協)、
有吉(東邦大学消費生協)、青木(千葉商科大学生協)、風間・山崎(日本生協
連職域生協事務局) 尼崎・佐久間・竹内(千葉県連) 敬称略

内容

1. 開会あいさつ

鶴岡部会長より、最低賃金のUPについて、雇用と効率的な事業などの経営強化についてみなさんと情報交換をしていきたいと話がありました。



2. 千葉県庁生協レストラン、売店のリニューアル計画について(施設見学と説明)

はじめに千葉県庁地下1階セブンイレブン売店と中チカ食堂および20階にあるスカイレストラン黎明を視察見学しました。その後スカイレストラン黎明内において、千葉県庁内レストランの改装について鶴岡専務理事より説明を受けました。



3. 2024年度上期事業状況と下期の仮題について

出席した各生協より、2024年度上半期事業状況と下期に向けた取り組み、課題共有したいことや紹介した情報などについて報告がありました。各生協が抱える課題などについて、積極的に意見交換をしました。日生協の風間さんより関東圏内の職域生協部会の活動状況について紹介がありました。

4. 第2回部会の日程・内容について

日時: 2025年3月6日(木) 時間未定

内容: 決定次第皆さんにお知らせいたします。



取り上げられたメディアの一部



スカイレストラン黎明
リフレッシュやリラック
スなどくつろげる店内
を目指して改装。電
源などの設備もあり。
眺望も抜群。



キャッシュレス対
応券売機と券売
機の上にはメニ
ュー写真。



地下1階セブンイレブン 千葉
県内初の完全セルフ対応レジ。



中チカ食堂 一人での利用が
多い。女性の利用も増えている。



中チカ食堂の配膳口。
メニューにはカロリーも表示。

2024 年度視察見学会

株式会社ニチレイフーズ船橋第 2 工場 施設見学会



日 時：2024 年 10 月 8 日（火）10：00～16：00
会 場：株式会社ニチレイフーズ船橋第 2 工場
参 加：13 人（事務局含む）
概 要：



2024 年度は年間を通じて「食の安全」をテーマに、学習しています。そこで、消費者としての知見を広めるため、株式会社ニチレイフーズ様船橋第 2 工場のご協力のもと、視察見学会を開催しました。

船橋第二工場は、2014 年 1 月に、水道や電力のインフラや従業員の通勤環境が整っている京葉食品コンビナートの中に設立されました。ニチレイフーズの工場の中でも、IT を活用した業務効率化とロボットを活用した手作業の自動化を推進している工場のひとつです。主に、お弁当で利用される「ミニハンバーグ」を製造しています。

当日は、工場の概要、HACCP の取り組み、美味しさの追及、また外国人の社員教育や子ども食堂への支援活動まで、様々な側面から幅広くご説明いただきました。

初めに HACCP について、具体的な製造過程を考えながら「重要管理点」について学習しました。また、フードディフェンスのモデル工場として、全商品の賞味期限分の生産日や生産時間のわかる画像の保存、工場の敷地や工場内に入るための IC タグや作業者の手元まで映るカメラの導入により「食の安全」を守っているとの説明がありました。IT 化として独自に「PAS」（Production Assistance System）を開発し、原料の調達から生産、消費まですべての工程記録を「PAS」のバーコードでデータ管理し、正しい状態で

生産されているかを確認できるようにすることで、問題が発生してもすぐに対処でき、安全を担保しているそうです。

事前学習の後、実際に工場内を見学し、ハンバーグをジューシーに仕上げる「Wベルトグリル」や、高速でトレイ

に詰める AI ロボットと高性能カメラを活用したアームロボットを見せていただきました。

参加者からは「取組みが素晴らしい。もっと冷凍食品を利用したい」といった感想がありました。



事前学習の様子。工場長、品質管理の方々から、わかりやすく説明していただきました。



社員の皆さんの冷凍食品にかける熱い思いが記された廊下を抜けると、冷凍ハンバーグの製造ラインが見えました。馴染がある商品だけに、熱心に説明に聞き入り、質問も多く出されていました。



昼食を兼ねて、お勧めの冷凍食品を試食しました。

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい

千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15
HP アドレス <https://mirai.coopnet.or.jp/>

生活協同組合パルシステム千葉

所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F
HP アドレス <https://www.palsystem-chiba.coop/>

生活クラブ生活協同組合

所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12
HP アドレス <https://chiba.seikatsuclub.coop/>

なのはな生活協同組合

所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2
HP アドレス <https://nanohana-coop.net/>

千葉県庁生活協同組合

所在地：千葉市中央区市場町 1-1
HP アドレス <http://www.chibakenseikyo.or.jp/>

千葉大学生生活協同組合

所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33
HP アドレス <http://www.univcoop.jp/chiba-u/>

東邦大学消費生活協同組合

所在地：船橋市三山 2-2-1
HP アドレス <https://www.univcoop.jp/toho/>

千葉商科大学生活協同組合

所在地：市川市国府台 1-3-1
HP アドレス <http://www.univcoop.jp/cuc/>

千葉県学校生活協同組合

所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F
HP アドレス <https://www.jcgsk.com/>

生活協同組合ちば住宅コープ

所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F
HP アドレス <http://www.cjcoop.or.jp/>

千葉県高齢者生活協同組合

所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12
HP アドレス <http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/>

千葉県勤労者共済生活協同組合

所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1
HP アドレス <http://www.zenrosai.coop/>

〈準会員〉東都生活協同組合

所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F
HP アドレス <http://www.tohto-coop.or.jp/>

〈準会員〉常総生活協同組合

所在地：茨城県守谷市本町 281
HP アドレス <https://www.coop-joso.jp/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



チーバくん
ちばSDGs



千葉県生活協同組合連合会

千葉市中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)

tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459

<http://chiba-kenren.jp/>



千葉県生協連 HP はこちら